



1995年 平成7年	1994年 平成6年	1993年 平成5年	1992年 平成4年
<ul style="list-style-type: none"> <li>・「りんごマークの街づくり」「資料集」を編集（小冊子編集委員会）</li> <li>・準備金は150万円</li> <li>・「ケアセンター成瀬」着工。市長参加で起工式</li> <li>・東京都より社会福祉法人「創和会」設立が認可された（申請翌年の認可は異例）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・3級ヘルパー養成講座を開講</li> <li>・「ケアセンター成瀬」での具体的活動に向け「住民の会」内でアンケート実施、ボランティアも募集。バザー、映画会、講演会等で資金調達</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・住民集会で「センター建設促進住民の会」設立準備事務局発足が決まり、「法人設立準備」「建設」「研修」「資金」「広報」の5つの委員会が活動を開始</li> <li>・「ケアセンター建設促進住民の会」設立</li> <li>・「ケアセンター成瀬ニュース」第1号発行</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・暖家の会が地域住民や自治会に「成瀬台に高齢化社会を共に生きるためのコミュニティセンター建設を求める陳情」を呼びかけ、署名4499通を添えて寺田和男町田市長(当時)に提出</li> <li>・「成瀬台高齢者サービスセンターの基本構想を考えるプロジェクト委員会」発足</li> </ul>

1996年 平成8年	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・川上村一泊バス旅行など交流行事を多数開催し、映画会、バザー、フリーマーケットで資金づくりを行う。なるせだいまつり等、地域の行事にも参加</li> <li>・調理ボランティア実習（13回）</li> <li>・3級ヘルパー養成講座開講 50名参加</li> <li>・社会福祉法人「創和会」が設置・運営する在宅高齢者サービスセンター「ケアセンター成瀬」開設</li> <li>・「センター建設促進住民の会」は「ケアセンター成瀬支援住民の会」に改組</li> <li>・「地域ケア研究」「研修」「広報」「企画行事」「事業検討」の5委員会を設置</li> <li>・ケアセンター成瀬の運営に協力し「みんなで作る暮らし易いまちづくり」を目標に活動始める（会員数 1883名）</li> <li>・「ティールーム」「暖」営業開始</li> <li>・「ケアセンター成瀬 住民の会だより」第1号発行</li> <li>・デイサービス利用者とともにバス旅行等多くの行事を開催。地域行事にも参加</li> <li>・「エプロン製作」「ダンケムジークの会」など13のボランティアグループ結成</li> <li>・中学生教科書（明治図書出版株）で、社会参加・ボランティア活動が紹介される</li> </ul>	

1999年 平成11年	1998年 平成10年	1997年 平成9年
<ul style="list-style-type: none"> <li>・特定非営利活動法人「エヌピーオーアップルサービス」を設立</li> <li>・（住民の会の目的である「高齢社会を共に生きるまちづくり」を具体化するため、住民の会の有償事業部門をまとめ、NPO法人化した）</li> <li>・公的介護保険適用外のサービス援助事業を展開する</li> <li>・（食事サービス、住まいサービス、ホームヘルプサービス、介護用品の販売事業を行い、ボランティア活動だけでは解決できない事業に取り組む）</li> <li>・町田市健康なまちづくり検討会に参加し、成瀬台小学校余裕教室の活用を提言（厚生省委託モデル事業）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「公的介護保険を考える会」に参加。市長、市議会に陳情、請願署名を行う</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ダンケムジークの会 発足記念コンサート開催（200名が来聴。読売新聞に掲載される）</li> <li>・高齢化社会に向け地域ニーズアンケートを実施（約2300人が回答）</li> <li>・成瀬台小学校余裕教室を借り、ミニデイサービス「きらく会」を始める</li> <li>・NHK教育テレビで社会福祉と住民参加が数回紹介される</li> <li>・ケアセンター成瀬や住民の会を訪れた見学者は57団体（1650人）</li> </ul>

2003年	2002年	2001年	2000年
平成15年	平成14年	平成13年	平成12年
<ul style="list-style-type: none"> <li>・センター建設促進住民の会発足から10年目</li> <li>・有料老人ホームなどの施設見学を重ね、地域で安心して暮らすための施設を研究</li> <li>・老後を安心して生活するための生活支援（リビングサポート）を検討</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・バザー収益で掲示板を設置し、情報発信に役立てる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・住民の会あり方検討委員会を設置し、「ケアセンター成瀬支援住民の会」「社会福祉法人創和会（ケアセンター成瀬）」「NPOアップルサービス」の三者の役割と相互関係を明確化した。（以後方針を継続）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・介護保険法施行により、社会福祉法人「創和会」は町田市委託による介護サービス事業者から個人との契約による介護サービス事業者になる</li> <li>・税金による委託事業時代に比べ収入は大幅に減少、長期的な運営に不安を感じた</li> <li>・特定非営利活動法人（略称NPO）アップルサービスが本格的に活動</li> <li>・ボランティアグループ登録者460名。年間のべ活動時間は36000時間</li> </ul>



2007年	2006年	2005年	2004年
平成19年	平成18年	平成17年	平成16年
<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域懇談会開催。「地域包括支援センターの役割」や「後期高齢者（75歳以上）医療制度」を学ぶ（町田市担当課 講師）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ボランティアグループが充実・発展</li> <li>・スタートした創和会地域包括支援センターの役割を理解してもらうため、地域懇談会を5回開催</li> <li>・広報紙の名称を「住民の会だより」から「りんご箱」に変更</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一人暮らし高齢者への「ほっとコール」を開始（週1回、電話でお話し＆安否確認）</li> <li>・認知症の理解を深める活動の一環として、スウェーデンのモニカ・バリルンドさんによる講演会「認知症ケアにおける施設と介護職の役割」を開催</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・東京都社会福祉協議会より「地域福祉の進展に大きく寄与した」として表彰される</li> <li>・会の名称を「ケアセンター成瀬住民の会」に変更</li> <li>・ケアセンター成瀬を拠点として共生のまちづくりのための支援活動を続け、地域住民の会として存続していく</li> <li>・地域懇談会5回開催。地域ニーズを聞く</li> <li>・「住民の会だより」50号および「心のふれあう街づくり、住民の会だより」50号記念号を発行</li> </ul>

2013年	2012年	2011年	2010年	2009年	2008年
平成25年	平成24年	平成23年	平成22年	平成21年	平成20年
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ダンケムジーク第50回コンサート開催</li> <li>・広報紙「りんご箱」第100号発行</li> <li>・住民の会発足20周年記念事業を企画（納涼祭行事、ケアセンター成瀬20周年記念号を作成配布、アルフォンス・デーケン先生講演会、交流バス旅行）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・住民の会、創和会、NPOアップルサービスの連携協力体制が第三者評価委員会が高い評価を受ける</li> <li>・シニアカフェ「花みずき」でシニアの交流を支援</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本赤十字社を通じて東日本大震災被災地に10万円を寄付</li> <li>・地域密着型特別養護老人ホームケアセンター成瀬 暖家 開所</li> <li>・社会福祉法人創和会経営のシニアカフェ「花みずき」開店（運営に協力）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ケアセンター成瀬の大改修計画発表</li> <li>・街角の喫茶店の役割を果たしたティールーム「暖」を閉店（3月）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・創和会包括支援センターの相談活動と連携し、住み慣れた地域で生活できる条件づくりに貢献</li> <li>・町田市介護支援ポイント事業が発足</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ケアセンター成瀬まつりの収益でAED（自動体外除細動器）購入</li> <li>・地元の行事 どんど焼き、なるせだいまつりに参加（毎年）</li> </ul>

2016年	2015年	2014年
平成28年	平成27年	平成26年
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ケアセンター成瀬開設20周年記念式典が開かれる</li> <li>・住民の会とNPOアップルサービスに感謝状が贈られた(3月13日)</li> <li>・全会員対象で「活動アンケート」次年度実施に向け計画準備を始める</li> <li>・高齢者の消費生活トラブル防止の為の出前講座開催(研修委員会担当)</li> <li>・バス旅行(小田原城・真鶴)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地元伝統の「なるせだいまつり」の本部を当会の事務局内に置き地域各種団体の交流の場及び事務取扱業務を請け負う(6月～8月)</li> <li>・専門委員会としてホームページ委員会が発足</li> <li>・ボランティア研修会開催される。(ぶどうの会担当)</li> <li>・バス旅行(エブソンアクアパーク品川)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・住民の会ホームページがリニューアルされる</li> <li>・住民の会、二〇周年記念行事「アルフォンス・デーケン」先生講演会(2月)</li> <li>・住民の会に佐藤会長就任(4月)</li> <li>・西嶋先生「赤ひげ大賞受賞記念講演会」(2月)</li> <li>・恒例ケアセンター成瀬まつり会場内を土足解禁し、参加者の流れがスムーズに</li> <li>・当初から続けて来た会食会が惜しまれつつ今期で活動終了する</li> <li>・バス旅行(富士山)</li> </ul>

2019年	2018年	2017年
平成31年 令和元年	平成30年	平成29年
<ul style="list-style-type: none"> <li>・「りんご箱」120号(記念号)8ページ版をフルカラーで発行 1992年からこれまでの歩みを振り返る</li> <li>・第6回花みずきおしゃべり会開催(サプライズで蕎麦打ち実演・打ち立てを提供・大好評)(地域ケア委員会担当)</li> <li>・町田市花壇コンクールで「優良賞」を受賞する(園芸グループ担当)</li> <li>・バス旅行(箱根芦ノ湖)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「花みずきのおしゃべり会」がスタートする(地域ケア委員会担当)</li> <li>・住民の会が東京都知事推薦「生き生きシニア活動顕彰」を受賞する(6月29日)</li> <li>・きらく会が惜しまれつつ活動終了する(3月)</li> <li>・バス旅行(秩父・宝登山)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ケアセンター成瀬住民の会活動アンケート実施 509世帯(地域ケア委員会担当)</li> <li>・要望のあった「ホットコール」を充実(9月)</li> <li>・「終活に向けて」講演会開催(研修委員会担当)</li> <li>・創和会木曾東グループホーム圓開設(3月31日)</li> <li>・ダンケムジークコンサート 60回目開催(5月14日)</li> <li>・バス旅行(横須賀港)</li> </ul>